

Free Location Office 「いつでも、どこでも、自由自在オフィス」

クライアントソフトウェア セットアップマニュアル
バージョン 4.0

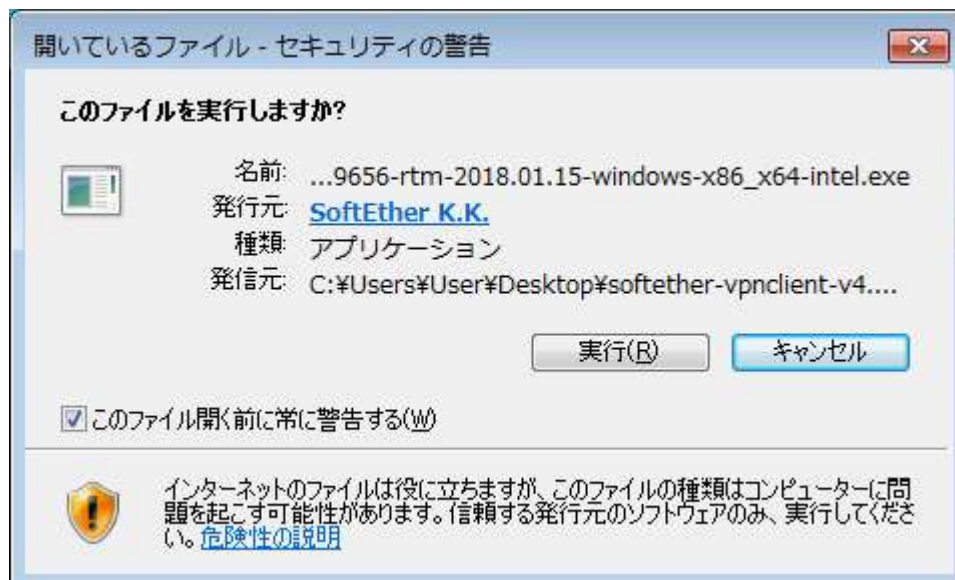
更新 2020 年 04 月 01 日

【1】	クライアントソフトウェアのインストールと設定	P. 2
	(1) ハードディスク インストール	P. 2
	(2) USB メモリ インストール	P. 13
【2】	接続メッセージ・エラー	P. 18
【3】	ユーザー認証に必要なパスワードの変更方法	P. 19
【4】	共有接続の設定方法	P. 20
【5】	リモートデスクトップ接続の設定方法 (Windows XP)	P. 21
【6】	リモートデスクトップ接続の設定方法 (Windows 7)	P. 22
【7】	リモートされる側のスクリーンセーバー、電源設定の設定	P. 23
【8】	ネットワークアダプタのバインドの順序を低くする方法	P. 23
【9】	使用ポート番号	P. 23
【10】	ハードディスク インストールのアンインストール	P. 24

【1】 クライアントソフトウェアのインストールと設定

(1) ハードディスク インストール

- ① クライアントソフトウェアのダウンロードと実行
- ② インストールの開始



[次へ]を押下します。



[SoftEther VPN Client] を選択します。

[次へ] を押下します。

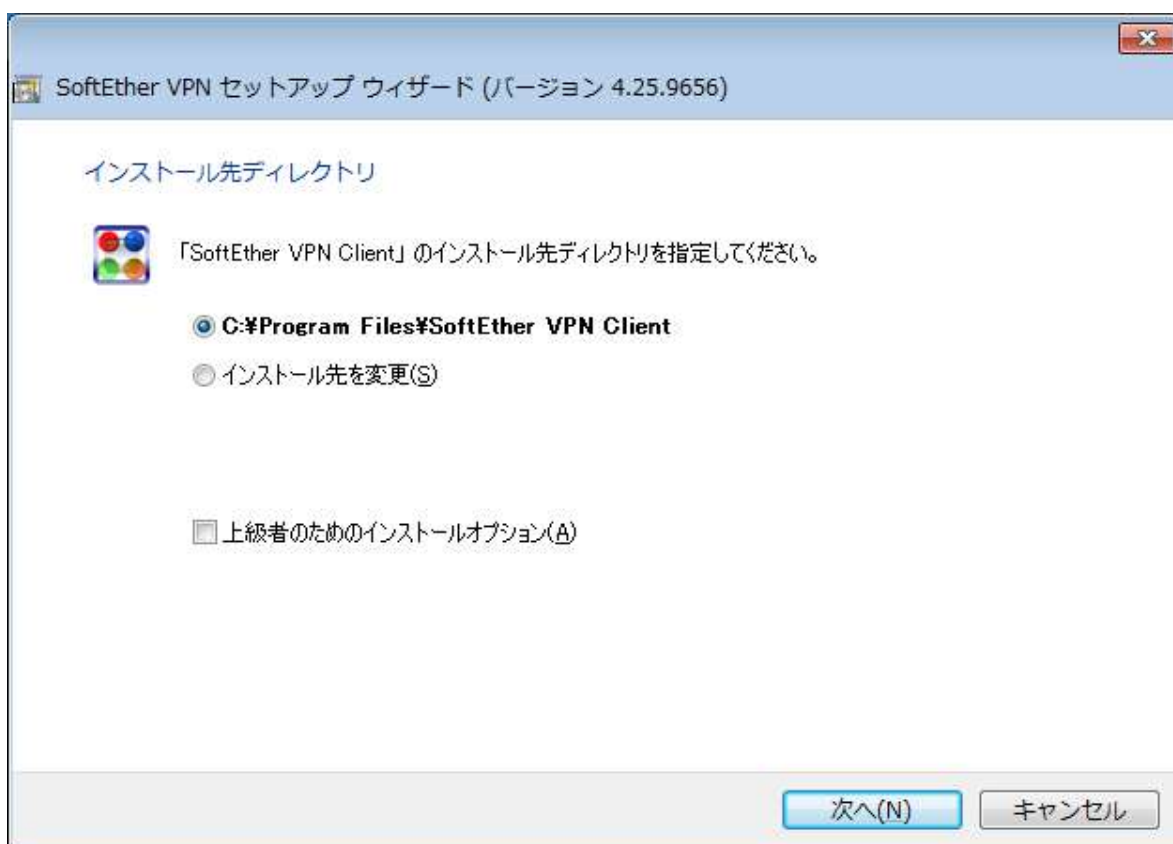


[] [使用許諾契約書に同意します] を [✓] します。

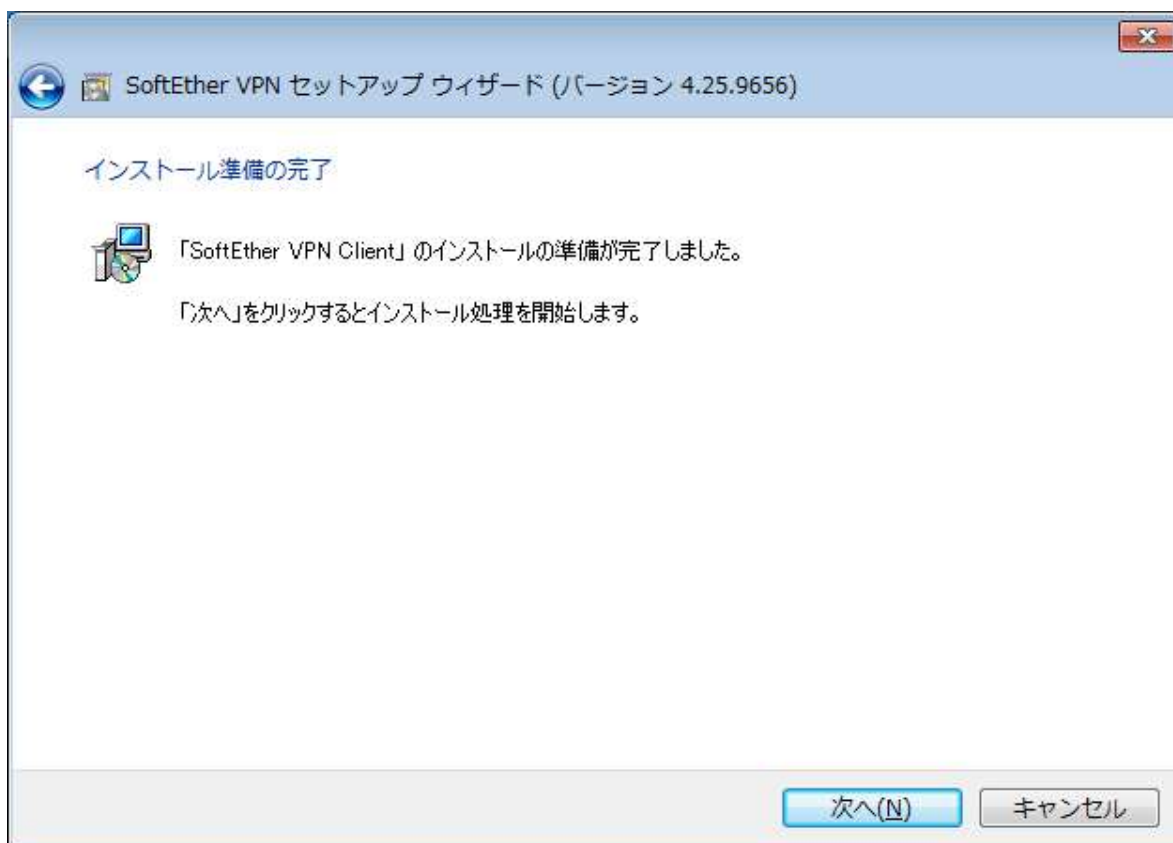
[次へ] を押下します。



[次へ]を押下します。

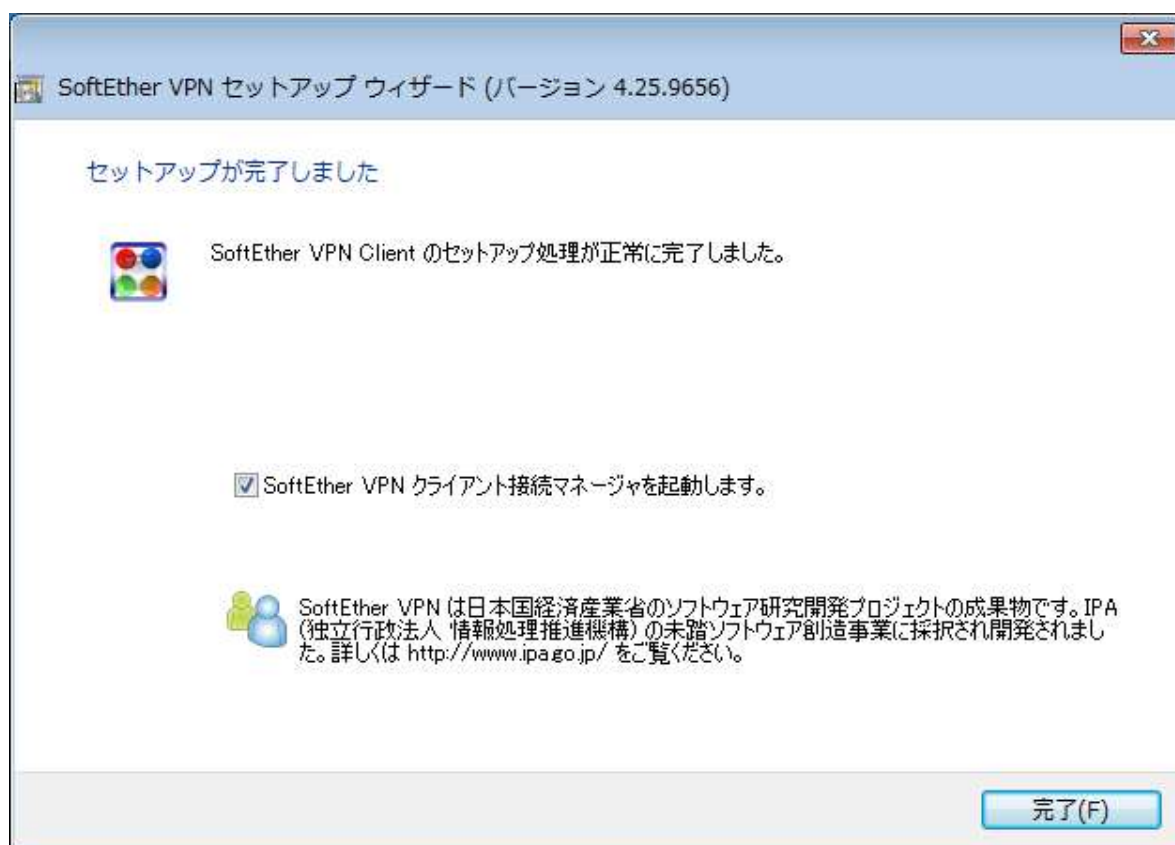


[次へ]を押下します。




[次へ]を押下します。



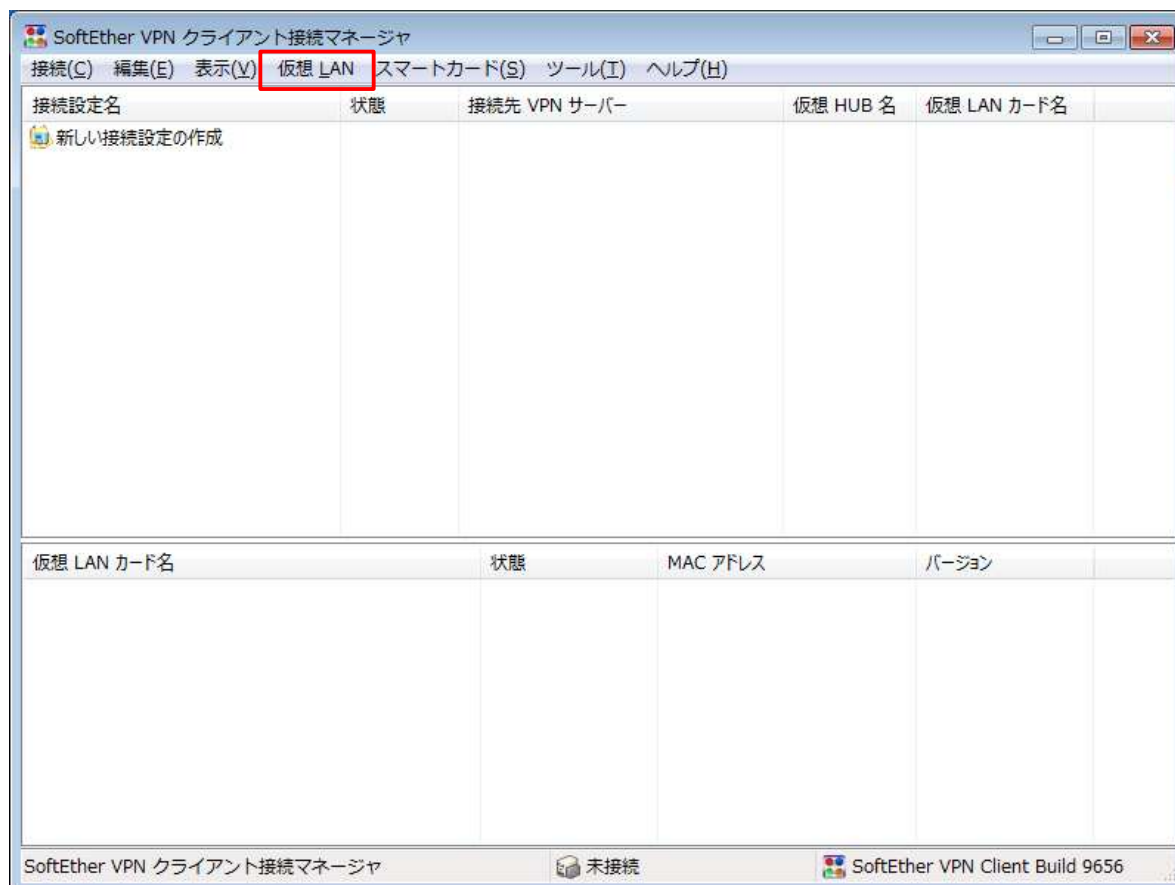


[完了]を押下します。

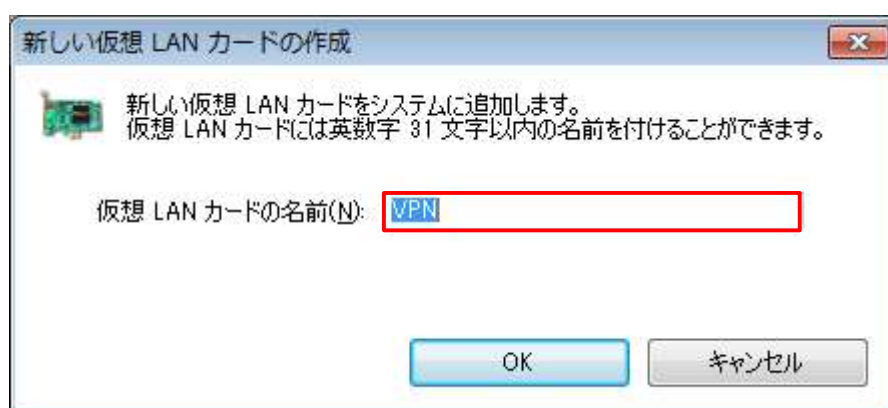
③ [SoftEther VPN クライアント接続]の起動

デスクトップの[]-[SoftEther VPN クライアント接続]を選択しても起動できます。

④ 仮想 LAN カードの作成

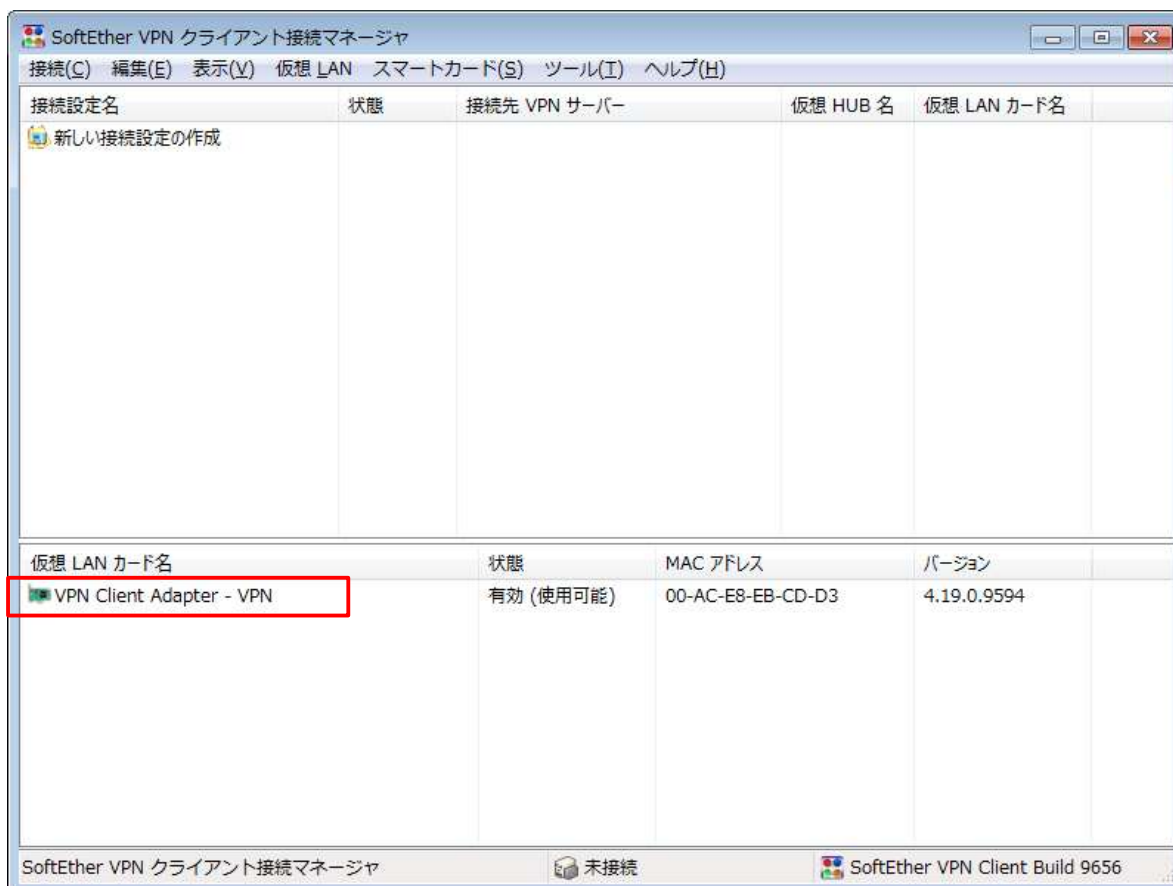
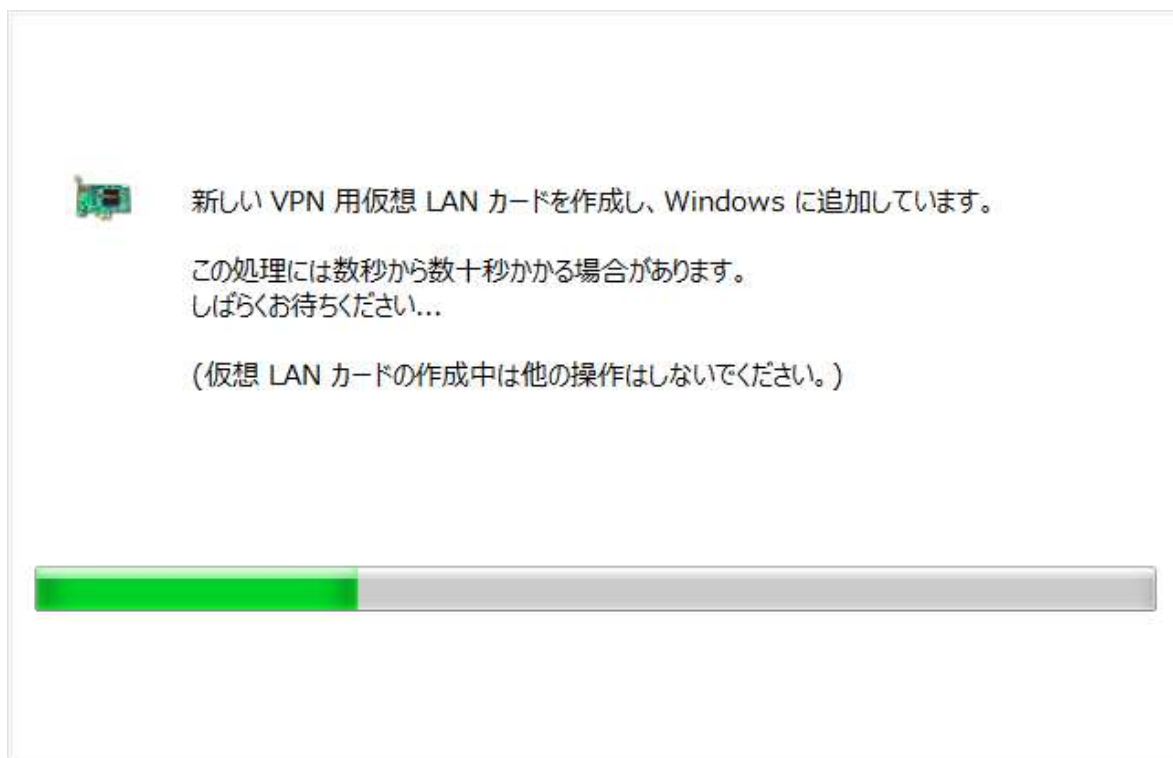


[仮想 LAN]メニュー - [新規仮想 LAN カードの作成]を選択します。



[VPN]と入力（推奨値）します。

[OK]を押下します。

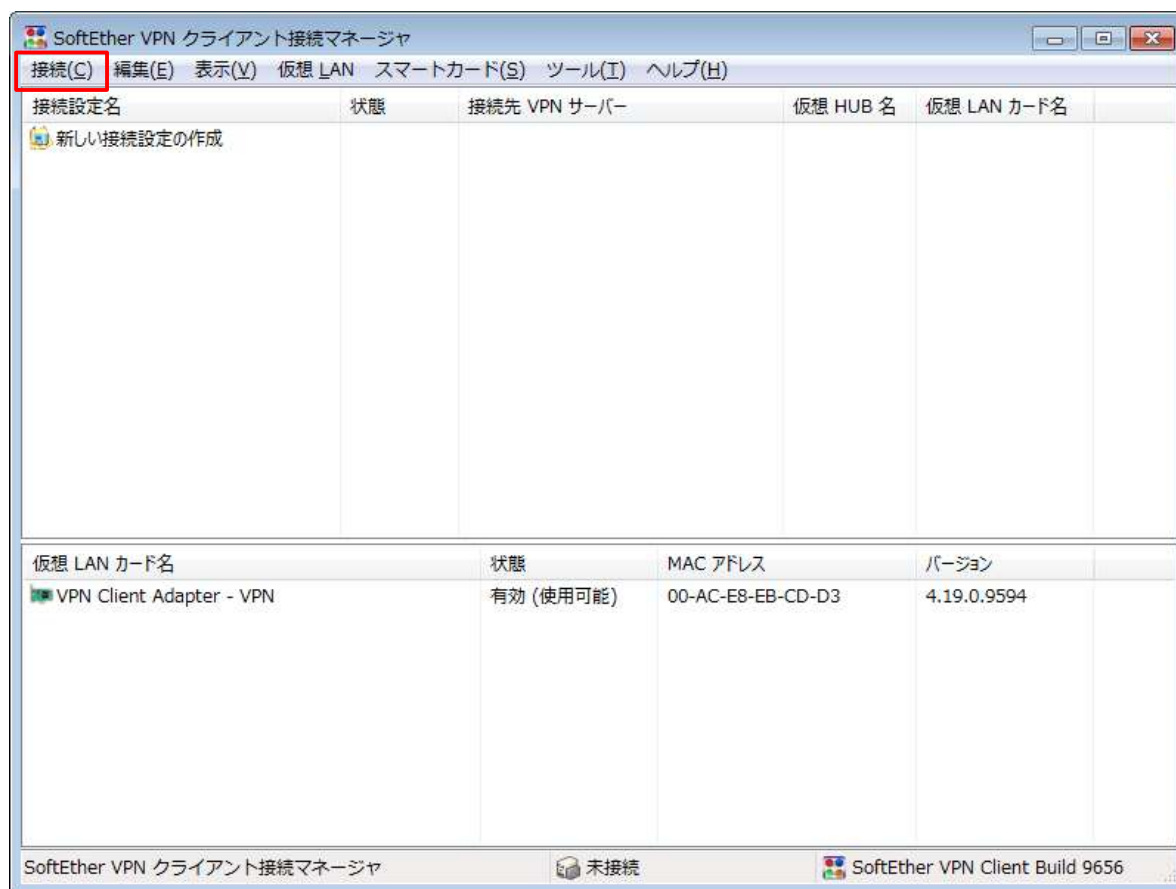


仮想 LAN カード名に[VPN Client Adapter - VPN]が表示されます。

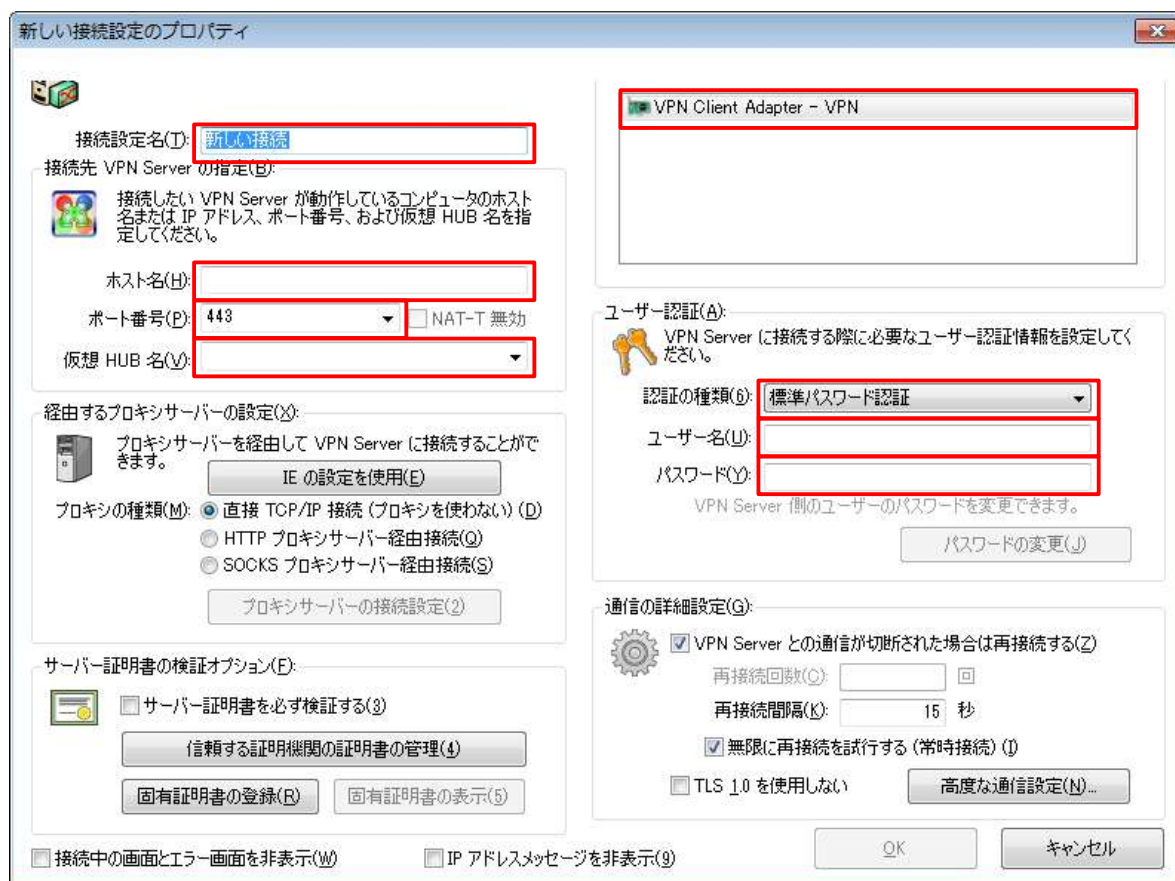
※注意事項

「DHCP を使用しない」でお申し込みいただいた場合は、設定終了後、別途 Windows の「インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ」で IP アドレスの設定が必要です。

⑤ 接続設定の作成



[接続]メニュー - [接続設定の新規作成]を選択します。



「開通のご案内」を用意します。

[接続設定名]	[FLO] (エフエルオー) と入力 (推奨値)
[ホスト名]	[接続設定情報]のホスト名の値
[ポート番号]	[接続設定情報]のポート番号の値
[仮想 HUB 名]	[接続設定情報]の仮想 HUB 名の値
[認証の種類]	[標準パスワード認証]を選択
[ユーザー名]	[接続設定情報]のユーザー名の値
[パスワード]	[接続設定情報]のパスワードの値

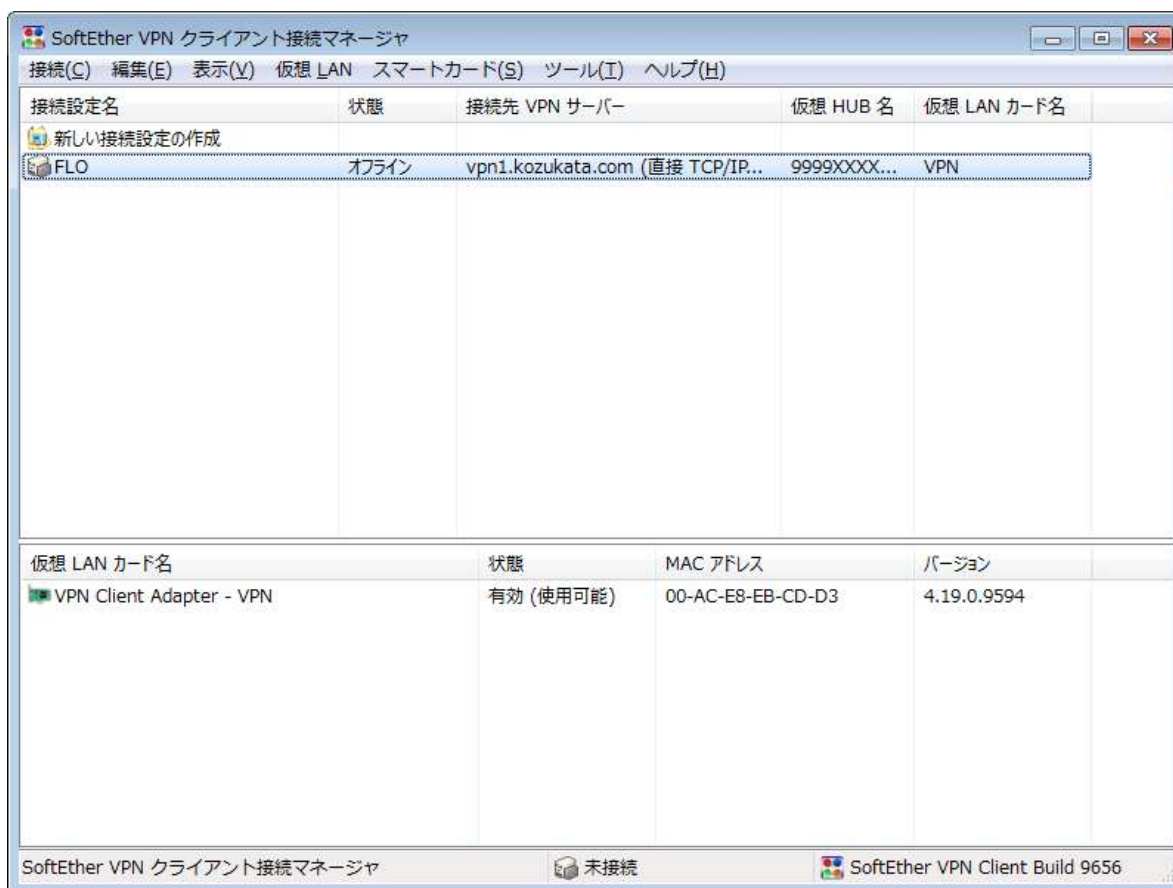
[経由するプロキシサーバーの設定]

プロキシサーバーをご利用の場合、プロキシの種類を選択後、[プロキシサーバーの接続設定]を押下します。

必要に応じて値を入力してください。

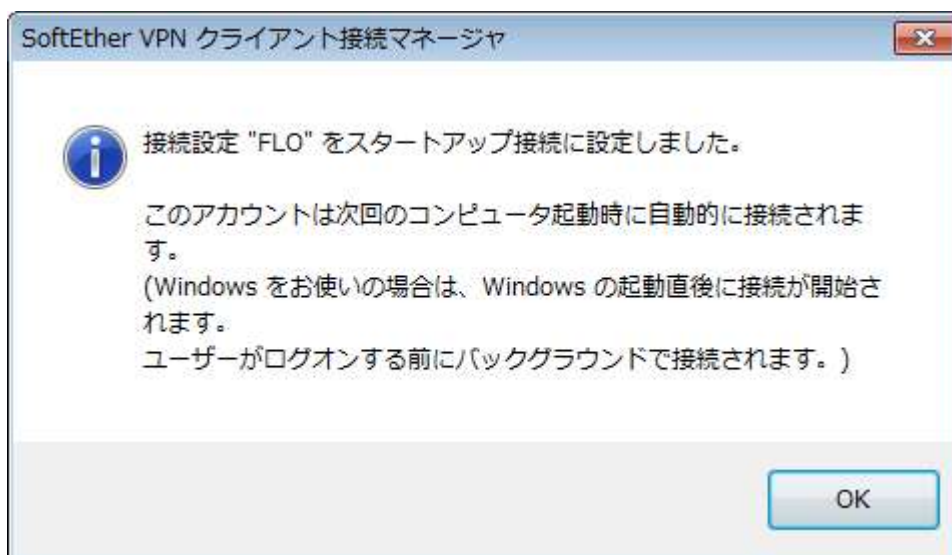
※ 確認方法 [インターネットのプロパティ]-[接続]-[LAN の設定]-[プロキシサーバー]

[OK]を押下します。



接続設定名に[FLO]が表示されます。

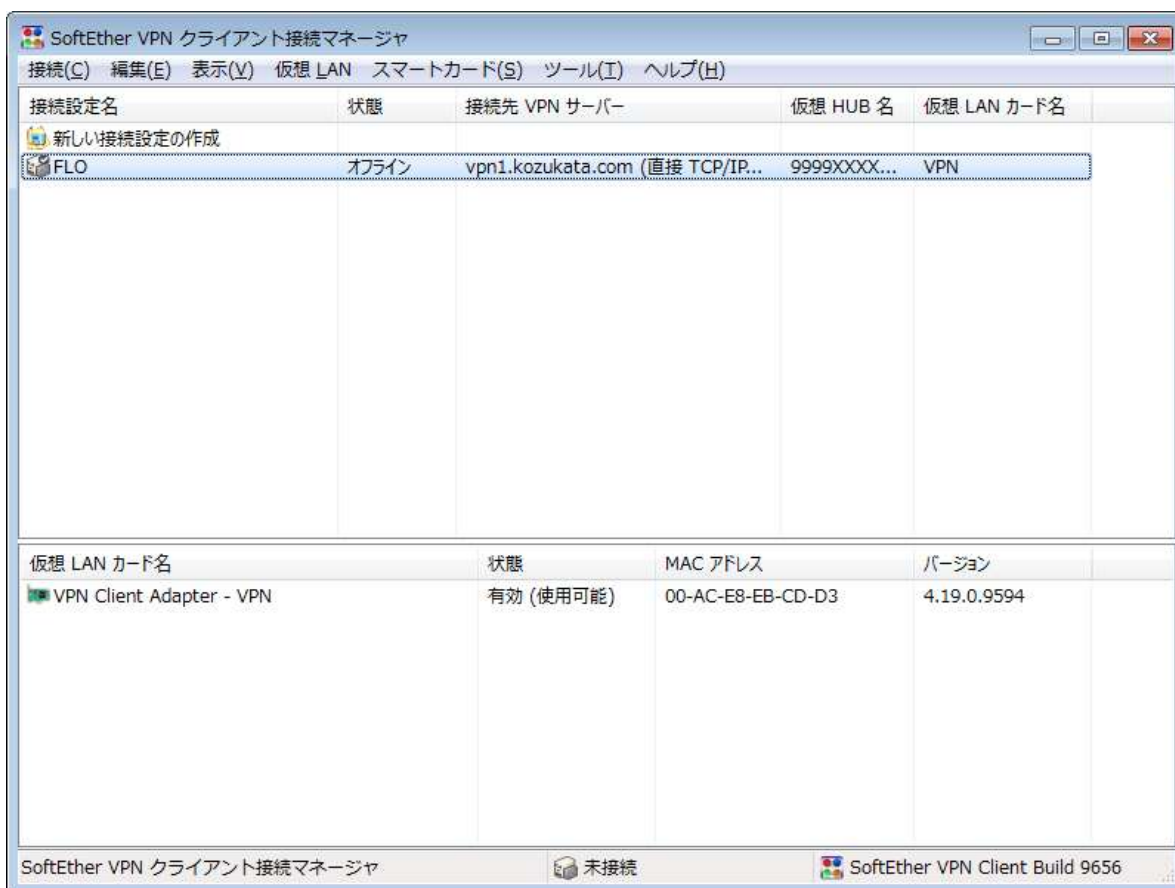
[FLO]の右ボタンの[スタートアップ接続に設定]を選択します。



[OK]を押下します。

※注意事項


お申し込み接続クライアント数を超過してインストールする場合は、[スタートアップ接続に設定]を選択しないでください。



[FLO]の右ボタンの[接続]を選択します。


[状態]に「オンライン」または「接続完了」が表示されます。

閉じる[×]を押下します。

タスクトレイのアイコン[]が点滅します。


以上で設定は完了です。

⑥ 切断方法

タスクトレイのアイコン[]の右ボタンで[VPN 接続を切断]を選択します。

[FLO]接続設定を選択します。

⑦ 切断後の開始方法

タスクトレイのアイコン[]の右ボタンで[VPN 接続を開始]を選択します。

[FLO]接続設定を選択します。

⑧ バックアップとログ

下記フォルダのログファイルを定期的に参照・削除してください。

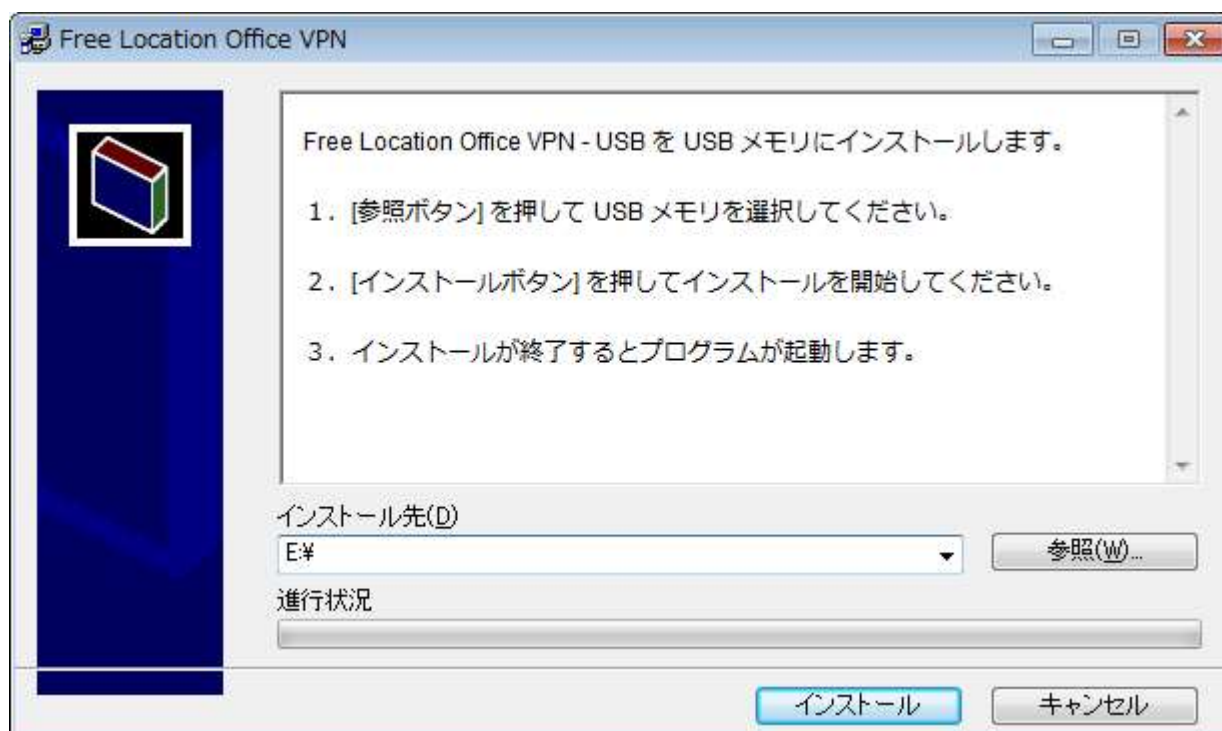
¥Program Files¥SoftEther VPN Client¥backup.vpn_client.config

¥Program Files¥SoftEther VPN Client¥client_log

(2) USB メモリ インストール

① vpnclient-usb.exe のダウンロードと実行

USB メモリを選択し、インストールを開始します。終了後プログラムが起動します。



○ リムーバブルディスクの情報



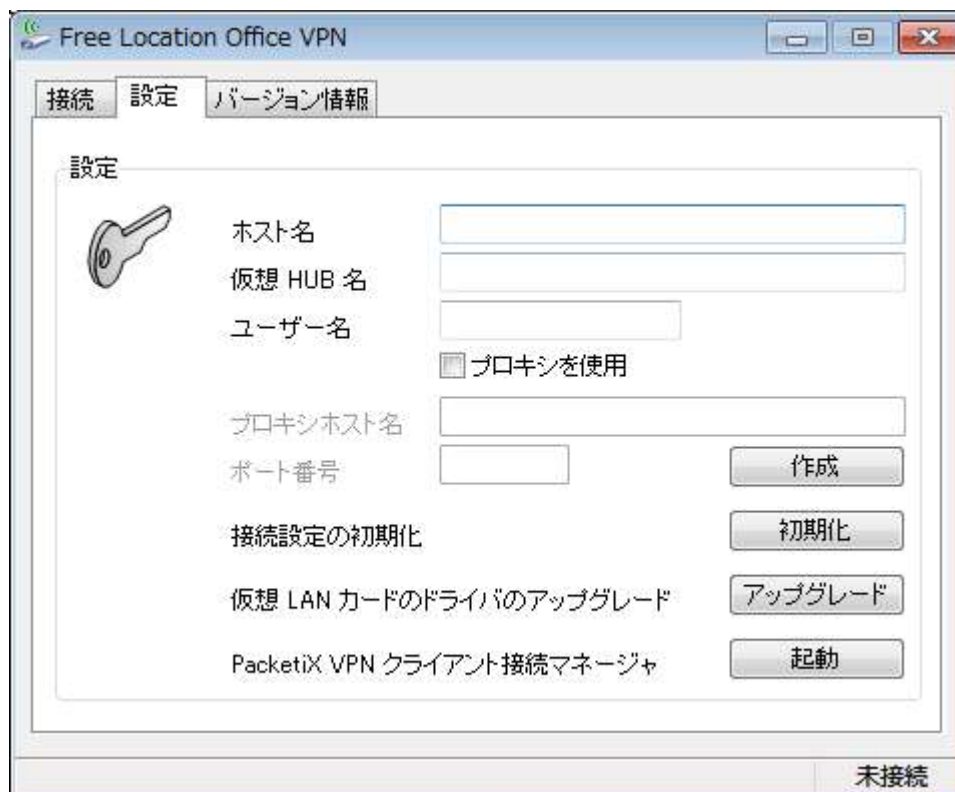
○ 「Launcher.exe」の実行

ログオンユーザーは Administrators グループに所属しているか、[別のユーザーとして実行]で Administrators グループに所属しているユーザーを選択してください。

○ 接続手順

1. [設定]タブの[ホスト名][仮想 HUB 名][ユーザー名]を入力 ※初回のみ
2. [接続]タブの[接続]ボタンで接続します。
3. [接続]タブの[切断]ボタンで切断します。

② 設定タブ



[－ 設定 －]

接続設定を作成します。

[\[VPN 開通のご案内\]](#)を用意します。

[ホスト名]	[接続設定情報]のホスト名の値
[仮想 HUB 名]	[接続設定情報]の仮想 HUB 名の値
[ユーザー名]	[接続設定情報]のユーザー名の値

[プロキシを使用]	HTTP プロキシサーバー経由接続の場合チェック
[プロキシホスト名]	プロキシサーバーのホスト名
[ポート番号]	プロキシサーバーのポート番号

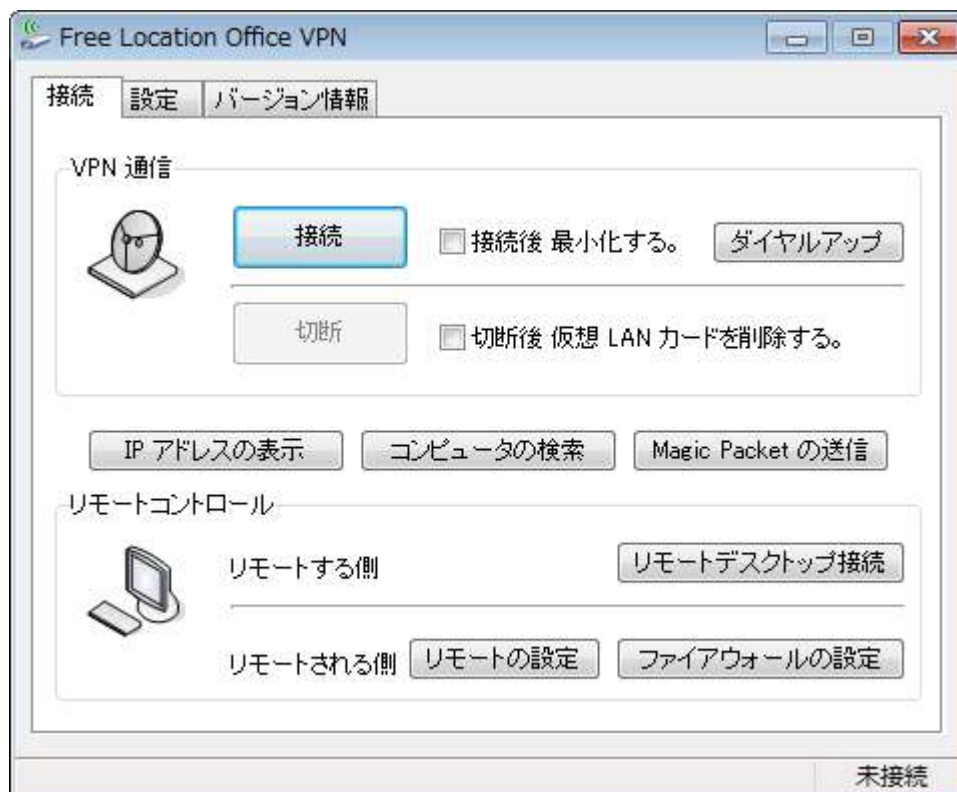
※ セキュリティを確保するため、入力した内容は表示されません。

接続設定の初期化 接続設定を初期化します。

仮想 LAN カードのドライバのアップグレード
仮想 LAN カードのドライバをアップグレードします。

PacketiX VPN クライアント接続マネージャ
PacketiX VPN クライアント接続マネージャを起動します。

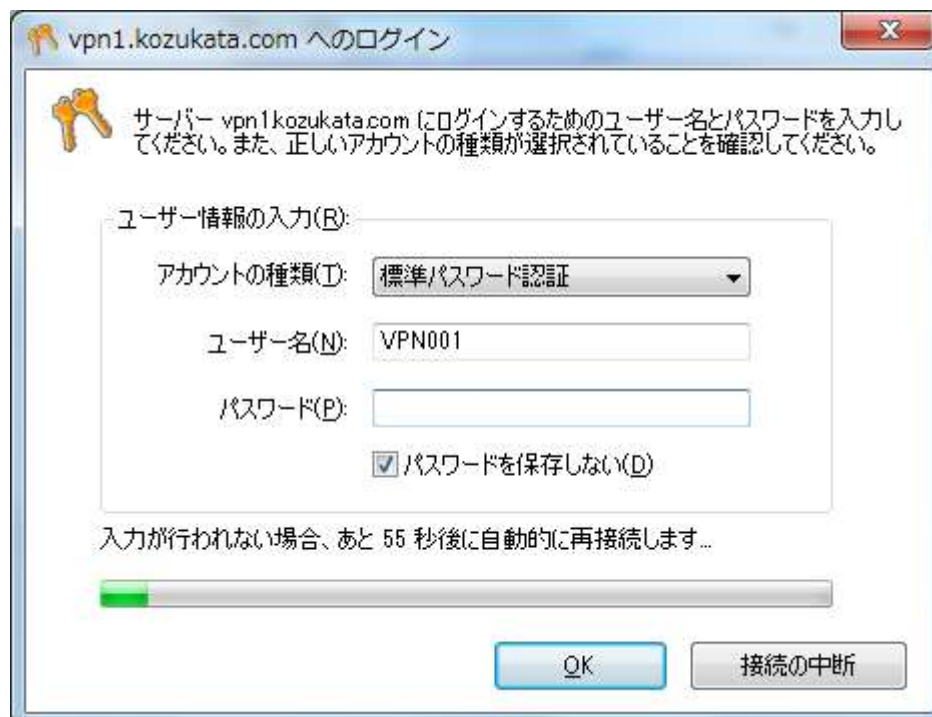
③ 接続タブ



[－ VPN 通信 －]

[接続]

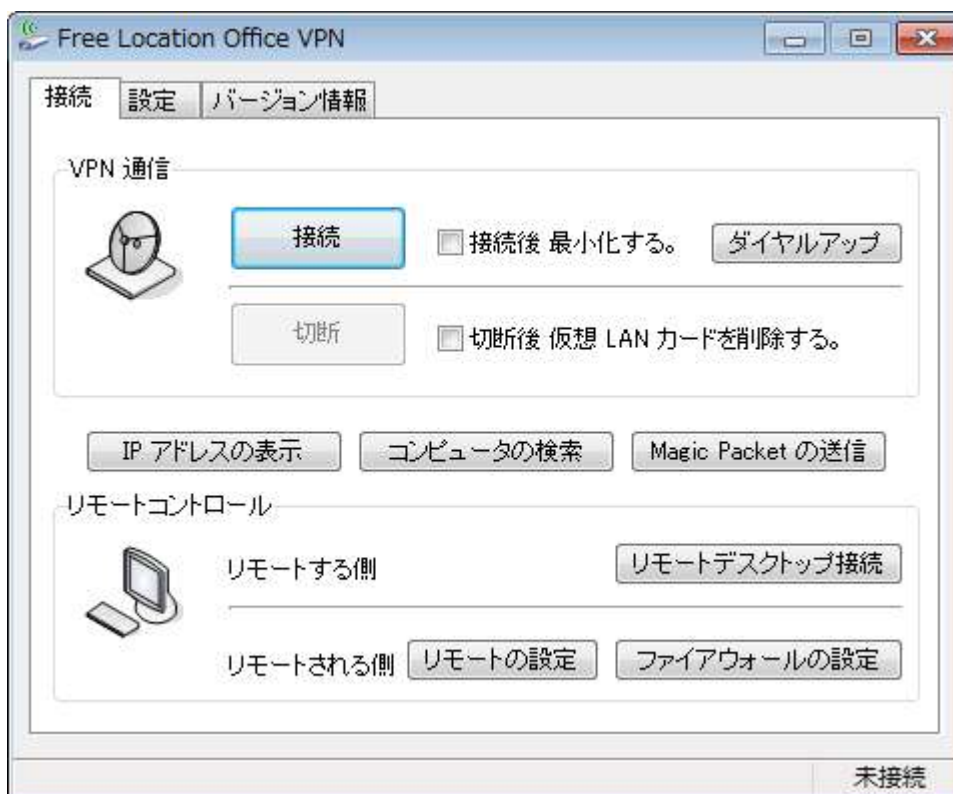
1. 「VPN 用仮想 LAN カード」が作成されます。
2. 「ログイン」ウィンドウが表示されます。



3. 「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。
4. [接続の中断]を選択した場合、[切断]後[接続]をします。

※注意事項

「パスワードを保存しない」のチェックを外しても、パスワードは保存されません。



[接続後 最小化する。]

接続後にフォームを最小化します。

[ダイヤルアップ]

ネットワーク接続が表示されます。

[切断]

ネットワークを切断します。

タスクトレイの常駐が解除されます。

[切断後 仮想 LAN カードを削除する。]

切断時に「仮想 LAN カード」を削除されます。

[IP アドレスの表示]

IP アドレスを表示します。

IP アドレスを表すウィンドウが表示されます。

[コンピュータの検索]

コンピュータを検索します。

[Magic Packet の送信]

Magic Packet を送信します。

[一 リモートコントロール 一]

Windows の「リモートデスクトップ」を使用しリモートします。

・ リモートする側

[リモートデスクトップ接続]

「リモートデスクトップ」を起動します。

・ リモートされる側

[リモートの設定]

「リモートデスクトップ」の許可を設定します。

[ファイアウォールの設定]

「Windows ファイアウォール」の例外の許可を設定します。

④ バージョン情報タブ



【2】 接続メッセージ・エラー

VPN サーバー vpn1.kozukata.com にログインするためのユーザー名とパスワードを入力してください。また、正しいアカウントの種類が選択されていることを確認してください。

このメッセージは、VPN クライアントコンピュータが、VPN サーバーコンピュータの仮想 HUB に接続するためにユーザー認証を試行した結果、ユーザー認証に失敗した場合には発生します。多くの場合は、認証方法の指定の誤りや**ユーザー名**または**パスワード**の入力ミス、証明書と秘密鍵の違いなどです。もう一度認証情報をよく確認してから再試行してください。

エラー 1:

サーバーへの接続が失敗しました。ネットワーク接続や、接続先サーバーのアドレスやポート番号を確認してください。

このエラーは、ユーザーが指定したサーバーの、ホスト名・IP アドレスおよびポート番号に対する接続が失敗した場合には発生します。このエラーが発生した場合は、指定したサーバーの**ホスト名**・IP アドレスおよび**ポート番号**が正しいかどうか、またコンピュータがネットワークに接続されているかどうかを確認してください。

エラー 2:

プロトコルエラーが発生しました。接続先サーバーからエラーが返されました。

このエラーは、VPN サーバーコンピュータに対して VPN クライアントコンピュータが接続を試行した際に、VPN サーバーからエラーが返された場合に表示されます。このエラーが表示された場合は、接続先のサーバーの**ホスト名**または IP アドレスと**ポート番号**上で、正しく VPN サーバーソフトウェアが動作しているかどうかを確認してください。また VPN サーバーソフトウェアまたは VPN クライアントソフトウェアのどちらかのバージョンが古い場合は、最新バージョンにアップデートしてみてください。

エラー 8:

指定された仮想 HUB がサーバーに存在しません。

このエラーは、VPN クライアントコンピュータが、VPN サーバーコンピュータに対して接続する際に指定した**仮想 HUB 名**について、そのような名前の仮想 HUB が VPN サーバーコンピュータ上に存在しない場合に発生します。

エラー 16:

接続先のサーバーまたは仮想 HUB に接続しているセッション数が多すぎます。

このエラーは、VPN クライアントコンピュータが、VPN サーバーコンピュータの仮想 HUB に接続しようとした場合に、その VPN サーバーコンピュータまたは仮想 HUB に設定されている**最大同時接続セッション数**以上の VPN セッションが、その VPN サーバーまたは仮想 HUB にすでに接続されているため、新しいセッションを確立することができなかった場合に発生します。

【3】 ユーザー認証に必要なパスワードの変更方法

SoftEther VPN クライアント接続マネージャから変更します。

該当の[接続設定名]右ボタン → [プロパティ] → [ユーザー認証]グループボックス → [パスワードの変更]ボタンから変更します。

※注意事項

設定内容は次回接続時に適用されます。

【4】 共有接続の設定方法

1. [簡易ファイルの共有を使用する]が選択されている場合

- ・共有したいフォルダを選択し[右ボタン]
- ・[共有とセキュリティ]-[危険を承知した上で、～]-[ファイル共有を有効にする] にチェック
- ・[ネットワーク上でこのフォルダを共有する]-共有名-
[ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する]にチェック

2. [簡易ファイルの共有を使用する]が選択されていない場合

- ・共有したいフォルダを選択し[右ボタン]
- ・[共有とセキュリティ]-[共有タブ]-[このフォルダを共有する]-<ドライブの場合は[新しい共有]>
共有名-[アクセス許可]-Everyone-[変更][読み取り]にチェック
- ・[セキュリティタブ]-Everyone-[変更][読み取りと実行][フォルダの内容の一覧表示][読み取り]
[書き込み] にチェック

※ [簡易ファイルの共有を使用する]の確認方法

[ツール]-[フォルダオプション]-[表示]-[詳細設定]

※ 初期状態の[簡易ファイルの共有を使用する]が選択されている場合、このコンピュータへの共有アクセスは無効になっています。

※ 接続先コンピュータの共有フォルダへの3種類の接続方法

1. [スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[¥¥接続先コンピュータ名]-[OK]
2. [マイネットワーク]アイコンをクリック
3. [スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[¥¥接続先 IP アドレス]-[OK]

※ IP アドレスの確認方法

[スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[CMD]-[OK] C:¥>IPCONFIG<Enter>

※ 空パスワードでネットワーク経由アクセス不可

空のパスワードを設定してあるユーザーを使用し、Windows XP Professional または Windows Server 2003（以下、Windows）へネットワーク経由でアクセスを行った場合や、リモート デスクトップを使用してログオンを行おうとした場合、アクセスやログオンが拒否されます。

【5】 リモートデスクトップ接続の設定方法 (Windows XP)

1. 接続先コンピュータ (リモートされる側) の設定

[スタート]-[コントロールパネル]-[システム]-[リモートタブ]

リモートデスクトップ

[] このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する。

[リモートユーザーの選択] でユーザーを選択します。

※ Administrators グループであれば、ユーザーを選択する必要はありません。

※ ユーザーは、このコンピュータに通常ログオンしているユーザーです。

※ Windows ファイアウォールの設定

[スタート]-[コントロールパネル]-[セキュリティセンター]-[Windows ファイアウォール]

[例外タブ] [] ファイルとプリンタの共有

[] リモートデスクトップ

[OK] を押します。

※ 他の製品をご利用の場合は、製品マニュアルを参照してください。

※ 空パスワードでネットワーク経由アクセス不可

空のパスワードを設定してあるユーザーを使用し、ネットワーク経由でアクセスを行った場合や、リモート デスクトップを使用してログオンを行おうとした場合、アクセスやログオンが拒否されます。

2. 接続元コンピュータ (リモートする側) の設定

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[リモートデスクトップ接続] または

C : ¥WINDOWS¥SYSTEM32¥MSTSC. EXE

(ア) コンピュータ

コンピュータ : [接続先コンピュータ名] または [接続先 IP アドレス]

[オプション>>>] を選択

[ローカルリソース]-[ローカルデバイス]

[] ディスクドライブ 「接続元コンピュータ名のドライブ名」が表示

[] プリンタ 「(接続元コンピュータ名からの) プリンタ名」が表示

[接続] を押します。

(イ) Windows ログオン

ユーザー名 : 上記 1. の [リモートユーザーの選択] で選択したユーザー

パスワード : 上記 1. の [リモートユーザーの選択] で選択したユーザーのパスワード

[OK] を押します。

(ウ) Windows ログオフの方法

[スタート]-[ログオフ]-[ログオフ]

(エ) Windows 切断の方法

[スタート]-[切断]-[切断]

【6】 リモートデスクトップ接続の設定方法 (Windows 7)

1. 接続先コンピューター (リモートされる側) の設定

- ①. [スタート]-[コントロール パネル]を選択します。
- ②. [システムとセキュリティ]を選択します。
- ③. [システム]を選択します。
- ④. 「タスク」の[リモートの設定]をクリックします。
- ⑤. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。
- ⑥. 「システムのプロパティ」画面-「リモート」タブが表示されるので、[リモート デスクトップを実行しているコンピューターからの接続を許可する(セキュリティのレベルは低くなります)]を選択します。
- ⑦. 「このコンピューターは、使用していないときは・・・」と表示された場合は、[電源オプション]をクリックし、コントロールパネルの「電源オプション」画面からスリープと休止状態の設定を「なし」にします。
- ⑧. [OK]をクリックします。

2. Windows ファイアウォールの設定

- ①. [スタート]-[コントロール パネル]を選択します。
- ②. [システムとセキュリティ]をクリックします。
- ③. [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックします。
- ④. 「許可されたプログラムおよび機能」で、[ファイルとプリンタの共有]と[リモート デスクトップ]にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合は、次の操作を行います。
- ④-1. [設定の変更]をクリックします。
- ④-2. [ファイルとプリンタの共有]の[ホーム/社内(プライベート)]、[パブリック]と[リモート デスクトップ]の[ホーム/社内(プライベート)]、[パブリック]にチェックを付けて、[OK]をクリックします。

※ 空パスワードでネットワーク経由アクセス不可

空のパスワードを設定してあるユーザーを使用し、ネットワーク経由でアクセスを行った場合や、リモート デスクトップを使用してログオンを行おうとした場合、アクセスやログオンが拒否されます。

3. 接続元コンピューター (リモートする側) の設定

- ①. [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[リモート デスクトップ接続]を選択します。
- ②. 「リモート デスクトップ接続」画面が表示されるので、接続先コンピューター (リモートされる側) のコンピューター名(または IP アドレス)を入力し、[接続]をクリックします。
- ③. 「Windows セキュリティ」画面が表示されるので、アカウント名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
- ④. 「このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか?」と表示された場合は、[はい]をクリックします。
- ⑤. ホスト PC(接続される側)への接続が完了すると、デスクトップ画面が表示されます。

【7】 リモートされる側のスクリーンセーバー、電源設定の設定

[画面のプロパティ]の設定

[スクリーンセーバー]

待ち時間	[10分]	例
[なし] パスワードによる保護		VNC サーバ利用の場合

[スクリーンセーバー]-[電源設定]

システムスタンバイ	[なし]	必須
システム休止状態	[なし]	必須

※ USB メモリ インストールの場合は、スクリーンセーバーとシステムスタンバイ・システム休止状態は無視されます。

【8】 ネットワークアダプタのバインドの順序を低くする方法 (※ 変更する必要がある場合のみ)

- ①. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
- ②. [ネットワーク接続]をクリックします。
- ③. 変更する VPN ネットワークアダプタを右クリックし、[プロパティ]をクリックし、[全般]タブをクリックします。
- ④. [この接続は次の項目を使用します]ボックスの一覧で、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑤. [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ]ダイアログ ボックスの[全般]タブをクリックし、[詳細設定]をクリックします。
- ⑥. [IP 設定]タブで、[自動メトリック]チェックボックスをオフにし、[インターフェイスメトリック]ボックスに値「1000」を入力します。

【9】 使用ポート番号

1. 使用ポート番号について

・ リモートデスクトップ	TCP : 3389
・ VNC	TCP : 5900、TCP : 5800
・ Radmin	TCP : 4899
・ Magic Packet	UDP : 2304

【10】 ハードディスク インストールのアンインストール

1. [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] から、アンインストールします。
 - ・ [SoftEther VPN Client] を選択します。

2. 設定データや書き出されたログファイルなどは、データの損失を防止するため自動的に削除されません。
 - ・ ¥Program Files¥SoftEther VPN Client を削除します。

3. 仮想 LAN カードは、自動的に削除されません。
 - ・ Windows の [デバイスマネージャ] から削除します。